

株式会社ナガワ

決算説明資料

— 2025年3月期 第2四半期 —

2025年3月期 第2四半期
連結決算概況

連結決算概況－B/S

	FY2023 Q2	FY2024 Q2	FY2025 Q2	YoY	
	22年4-9月	23年4-9月	24年4-9月	増減	増減率
流動資産	21,874	20,125	19,494	△631	△3.1%
貸与資産	10,865	12,723	14,226	1,502	11.8%
固定資産	33,735	40,266	47,830	7,563	18.8%
総資産	55,609	60,392	67,325	6,932	11.5%
流動負債	4,097	4,480	5,229	748	16.7%
純資産	51,427	55,314	60,201	4,886	8.8%
自己資本比率 (%)	92.5%	91.6%	89.4%	△2.2pt	-
1株当たり純資産 (円)	3,271.52	3,518.60	3,831.97	313.37	8.9%

※単位：百万円

連結決算概況－P/L

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、実質賃金が一時的にプラスに転じたものの再びマイナスとなる中、個人消費には持ち直しの動きが見られており、企業収益の改善から設備投資にも持ち直しの動きが見られ、一部に足踏みが残るものの、緩やかな回復傾向にありました。その一方で、海外経済においては、景気の下振れやウクライナや中東地域をめぐる情勢がわが国の景気を下押しするリスクとなっていることから先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、展示場の拡充や移転、新規開設等の積極的な投資を継続的に行って販売拡大に注力するとともに、配送体制の効率化を図ってまいりました。

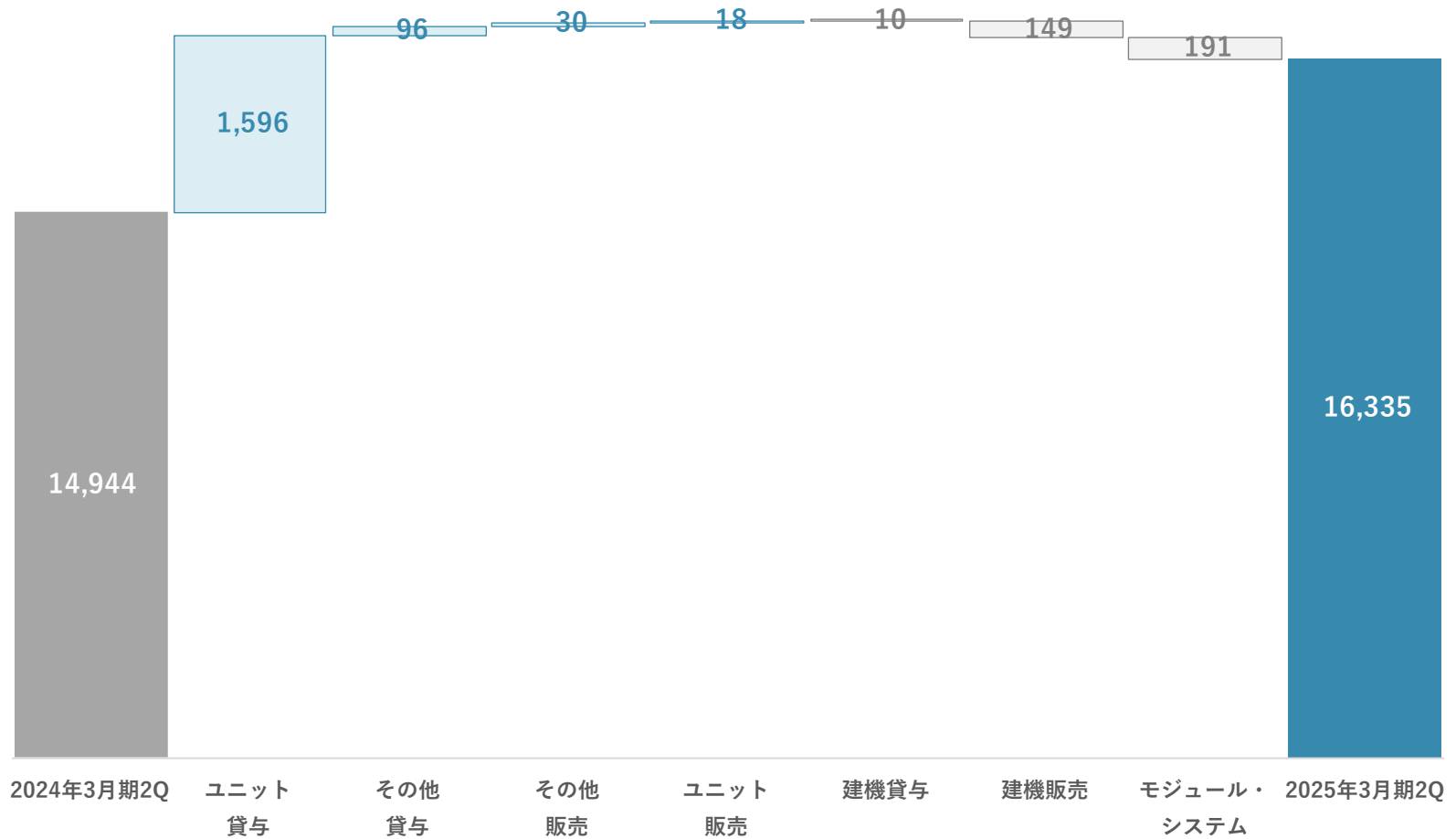
	FY2023 Q2	FY2024 Q2	FY2025 Q2	YoY	
	22年4-9月	23年4-9月	24年4-9月	増減	増減率
売上高	14,414	14,944	16,335	1,390	9.3%
売上総利益	6,110	6,185	6,433	248	4.0%
営業利益	2,042	1,792	1,835	43	2.4%
経常利益	2,289	2,016	2,139	123	6.1%
当期純利益 (※)	1,603	1,313	1,421	108	8.3%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

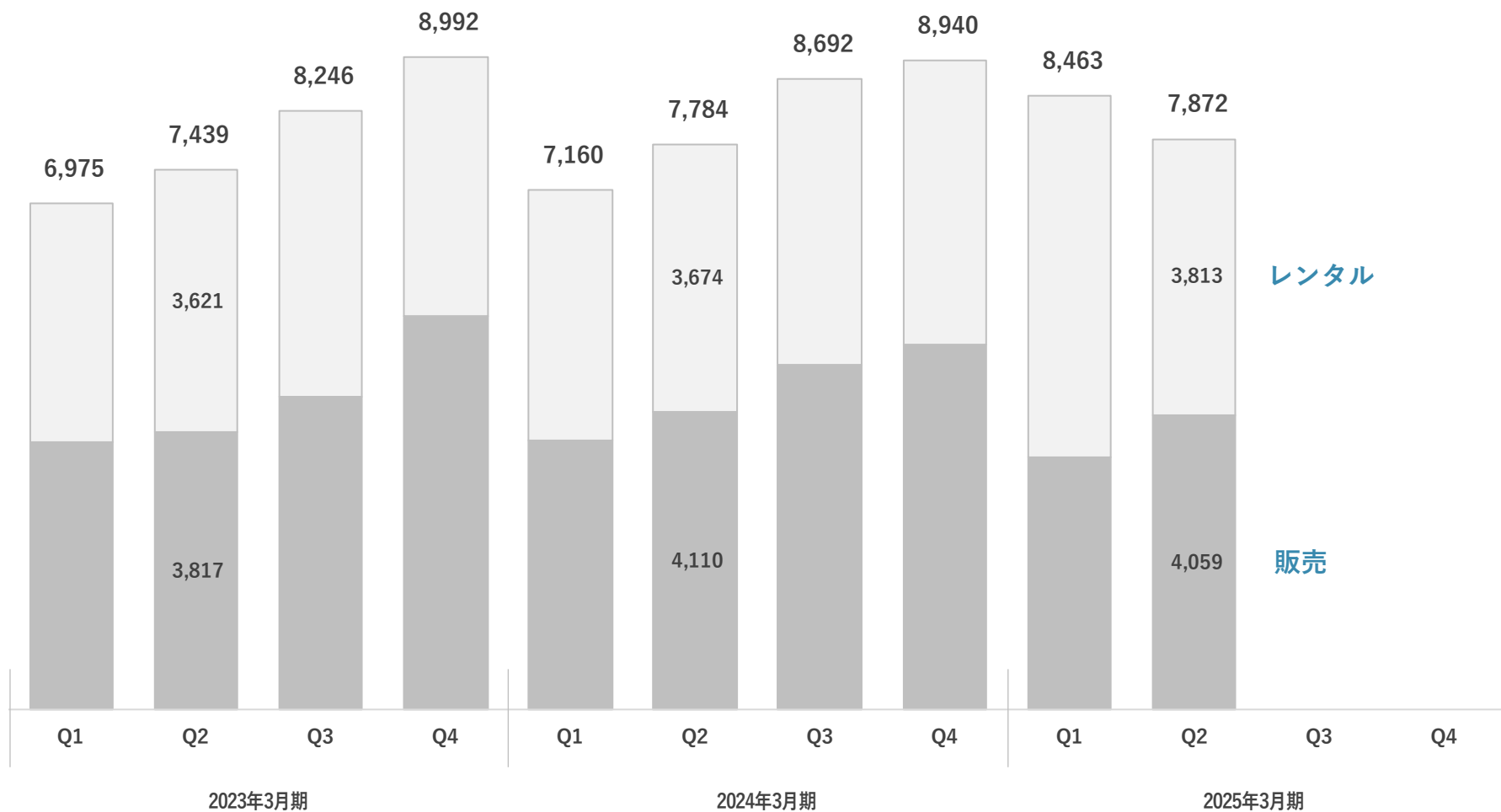
※単位：百万円

連結決算概況－要素別売上高増減

(単位：百万円)



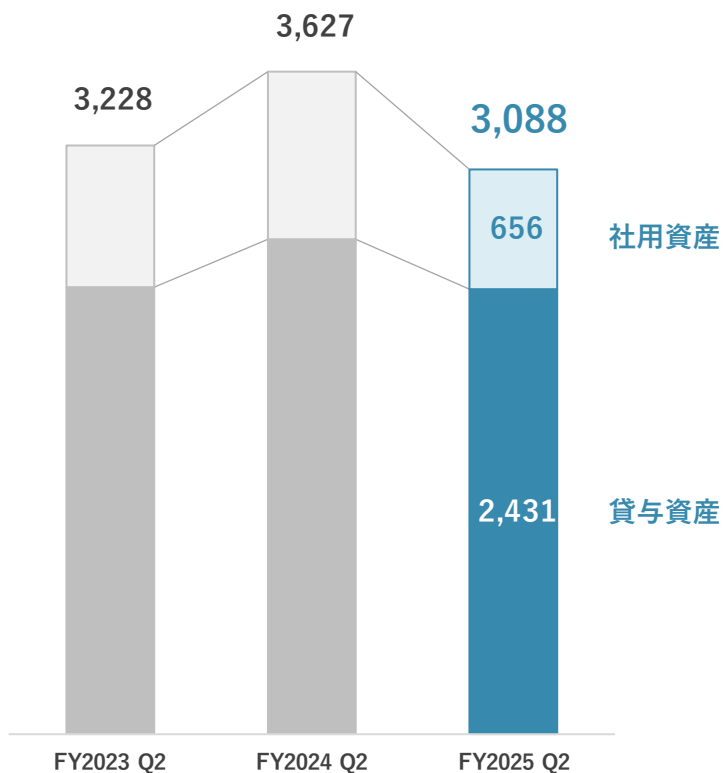
連結決算概況－四半期ごとの売上高推移



設備投資額と減価償却額

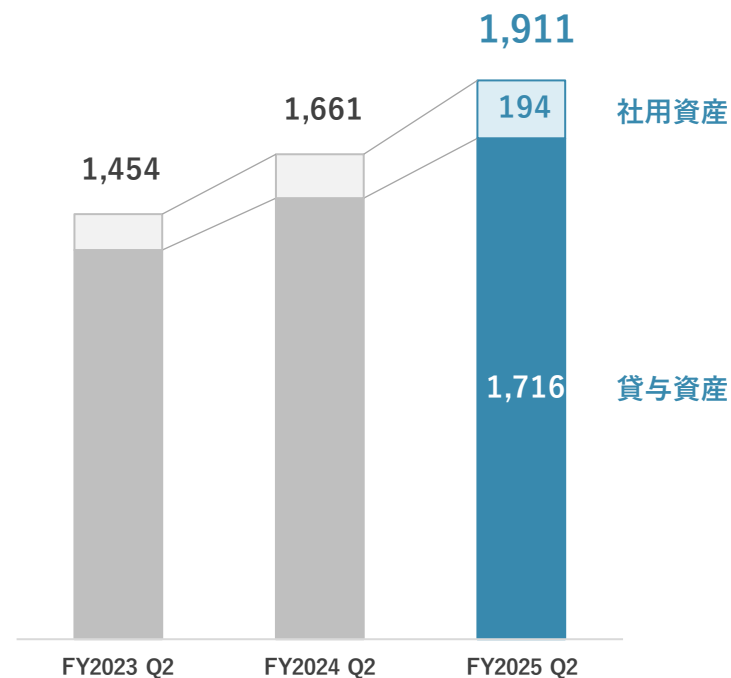
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



半導体企業の設備投資、万博などの需要増加を見込んで、積極的に貸与資産への投資を継続した。社用資産においても店舗展開のための土地・建物の取得をおこなった。

減価償却額については、貸与資産の増加、および原価高騰による償却負担の増加となっている。

2025年3月期 第2四半期

連結決算概況－セグメント別

セグメント別

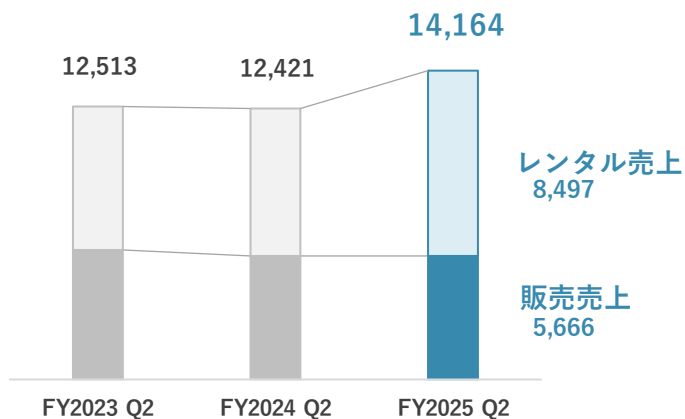
	FY2023 Q2	FY2024 Q2	FY2025 Q2	YoY	
	22年4-9月	23年4-9月	24年4-9月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	14,414	14,944	16,335	1,390	9.3%
ユニットハウス事業	12,513	12,421	14,164	1,742	14.0%
モジュール・システム建築事業	1,427	1,979	1,788	△190	△9.6%
建設機械レンタル事業	473	544	382	△161	△29.7%
営業利益合計	2,042	1,792	1,835	43	2.4%
ユニットハウス事業	1,855	1,532	1,631	99	6.5%
モジュール・システム建築事業	160	304	243	△60	△20.0%
建設機械レンタル事業	48	△24	△20	4	-

ユニットハウス事業

販売については、全国のモジュールベースおよびスマイルステーションを活用し、積極的な販売を推進。新棟販売は堅調に推移したが、中古販売については、約15%程度の値上げを実施したことにより棟数ではマイナス。金額ベースでは増収となった。レンタルは能登半島の応急仮設住宅を含むものの期初より通常レンタルが好調に推移し、金額および棟数、稼働率すべてが増加となった。

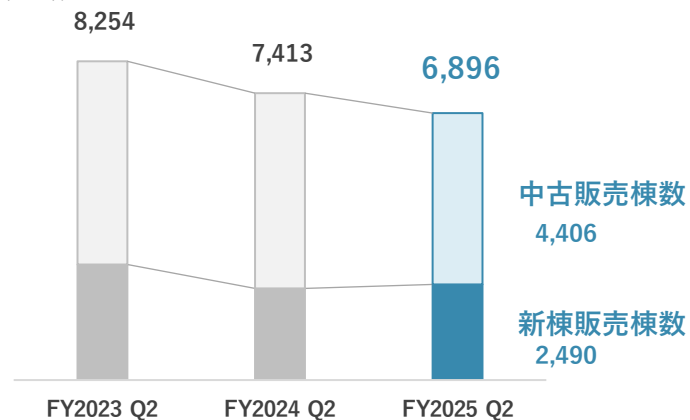
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



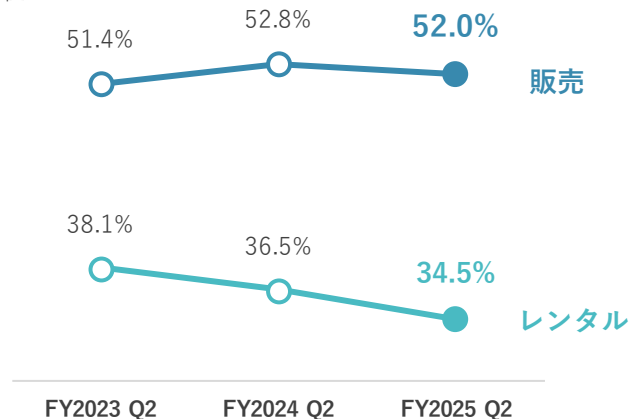
販売棟数

単位：棟



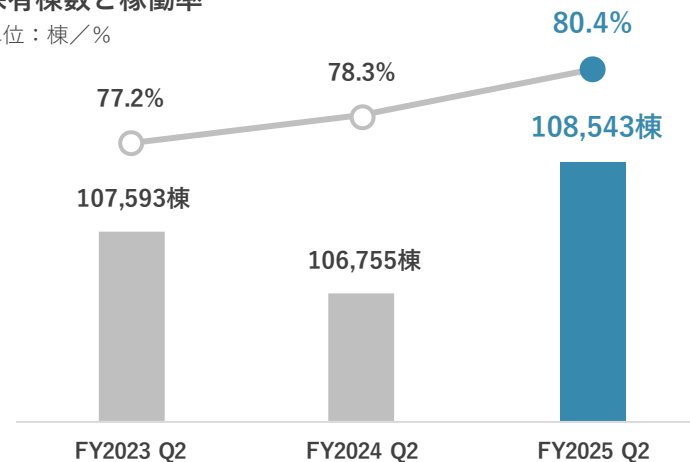
売上総利益率

単位：%



保有棟数と稼働率

単位：棟/%



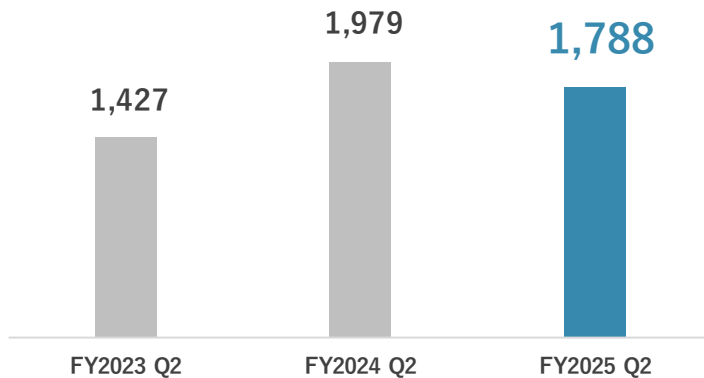
モジュール・システム建築事業



原価の高騰および納期確保のために契約までのリードタイムが増加。完工が大幅にずれ込み減収となったものの受注状況は好調に推移しており、第3四半期以降の完工物件による売上計上を見込み、通期では前年比で増収となる見込み。

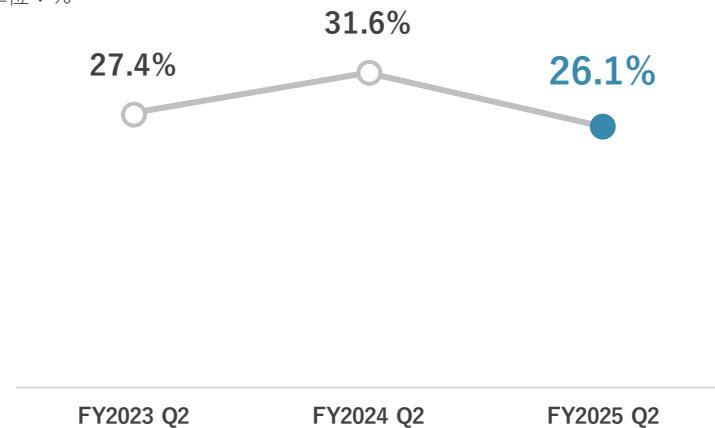
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



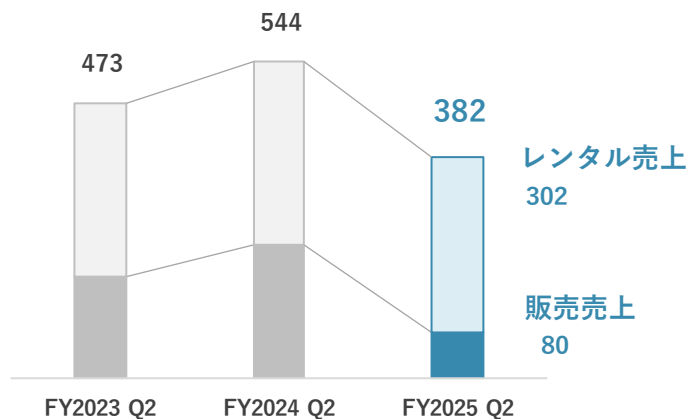
建設機械レンタル事業



当事業は北海道南部地域に限定した事業であり、地域に特化した営業活動を実施している。
2024年上期において、レンタル売上は前年並みに推移したものの、販売においては収益力を高めるために自社資産の収支バランスを見直し、自社建機の売却を抑制したために減収減益となっている。

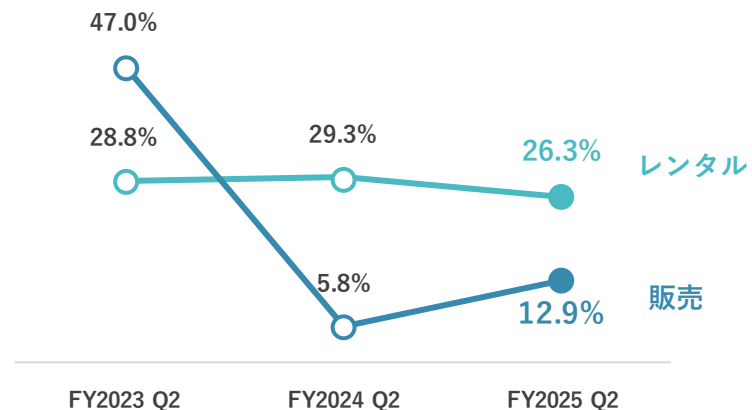
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



2025年3月期
業績見通し

業績見通し

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	22年4-3月	23年4-3月	24年4-3月	増減	増減率
売上高	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
営業利益	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
経常利益	4,674	4,643	5,400	757	16.3%
当期純利益 (※)	3,130	3,119	3,700	581	18.6%
総資産	58,806	66,876	63,000	△3,876	△5.8%
純資産	53,480	59,725	58,000	△1,725	△2.9%
自己資本比率 (%)	90.9	89.3	92.0	2.7pt	-
1株当たり純資産	3,401.25	3,800.91	3,800.00	△0.91	△0.0%

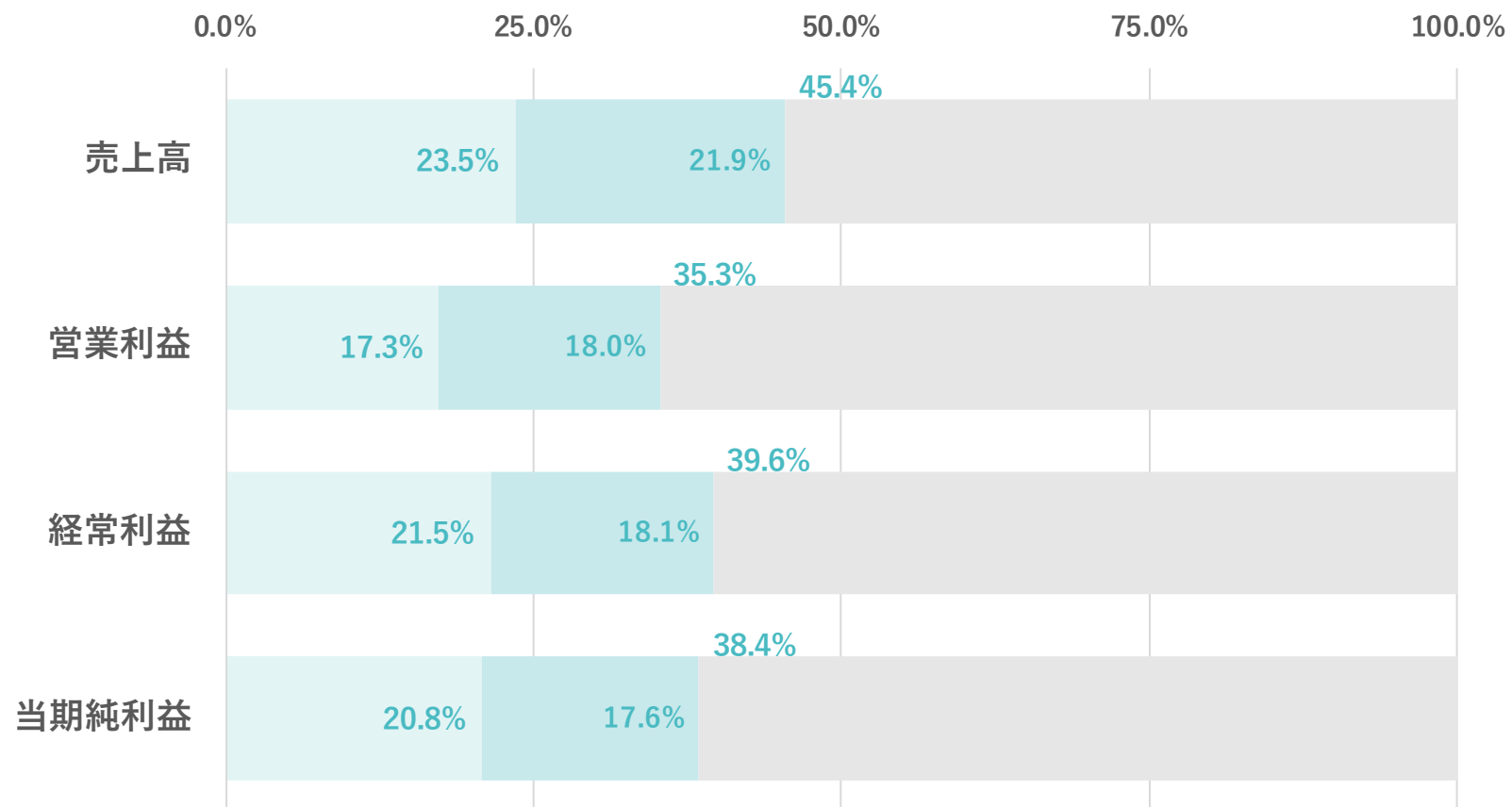
※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

※単位：百万円

業績見通しーセグメント別

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	22年4-3月	23年4-3月	24年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
ユニットハウス事業	26,332	26,470	26,900	430	1.6%
モジュール・システム建築事業	4,196	4,925	8,000	3,075	62.4%
建設機械レンタル事業	1,123	1,181	1,100	△81	△6.9%
営業利益合計	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
ユニットハウス事業	3,907	3,516	4,670	1,154	32.8%
モジュール・システム建築事業	366	729	500	△229	△31.4%
建設機械レンタル事業	84	40	30	△10	△25.0%
全社消去	△50	△45	-	-	-

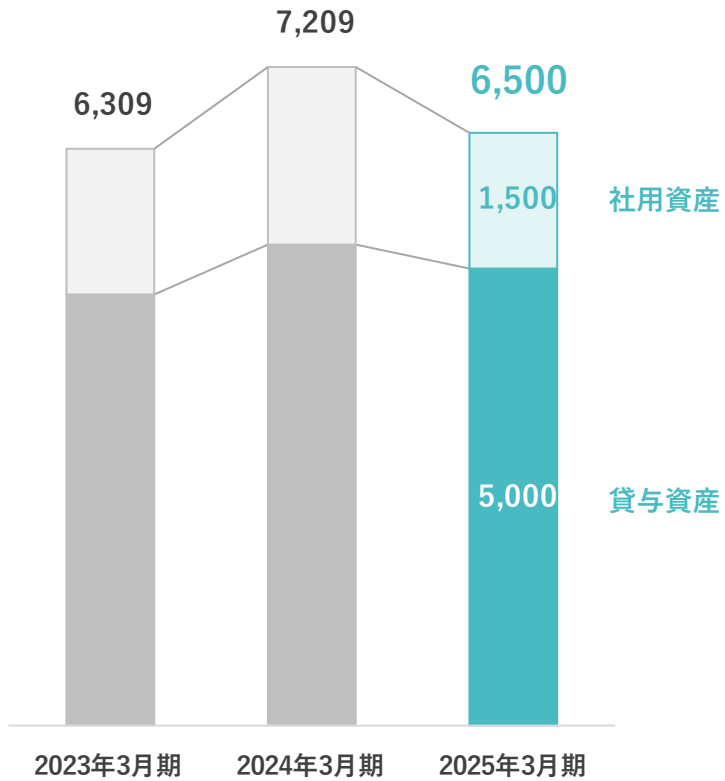
業績見通し - 進捗



設備投資額と減価償却額

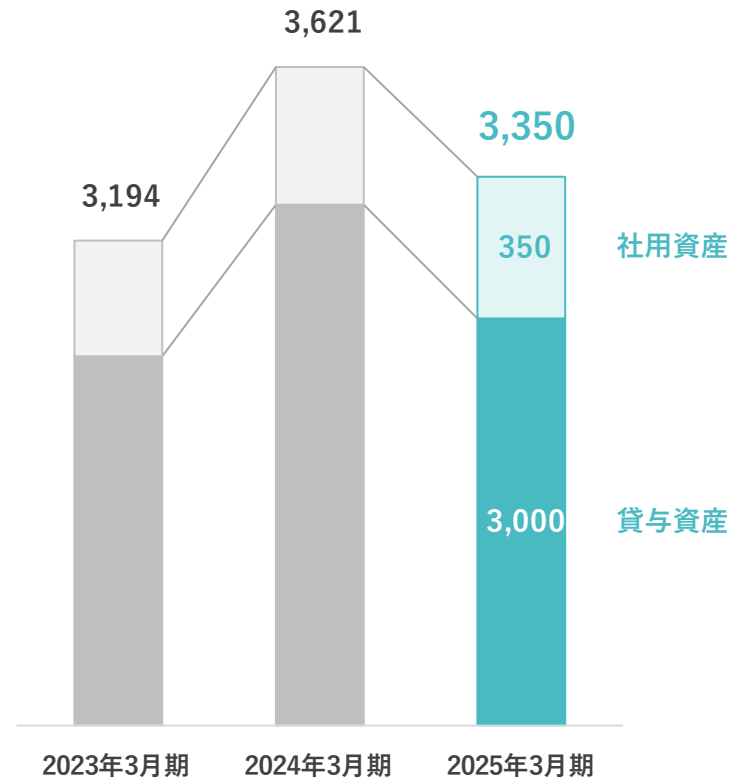
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー
<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

